



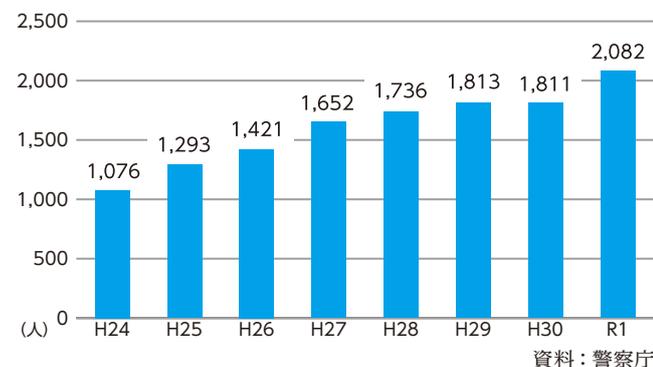
特集

楽しさの裏に 潜む「キケン」

スマートフォン、パソコン、ゲーム機——。これらの通信機器は今や生活の一部ですが、使い方を誤ると依存やトラブルの原因になります。今回は、通信機器やインターネットに潜む危険を知り、正しく活用する方法を考えます。

問い合わせ 生涯学習課

図1 SNSを通じて事件に巻き込まれた子どもの数(全国)



青少年の非行・被害防止全国強調月間について

国では毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定めていて、今年も6つの課題に重点を置いてさまざまな活動に取り組んでいます(表1)。

近年は中高生がスマートフォンなどを持つことも多く、子どもたちがインターネットに触れる機会が増えている中、SNSなどの利用をきっかけに、子どもたちが犯罪に巻き込まれるケースも多く発生しています。

SNSとは、ソーシャルネット

昨年、SNSでのやり取りを通じて事件に巻き込まれた18歳未満の子どもは、前年から21人増えて過去最多の2082人になりました(図1)。被害者は高校生が1044人、中学生が847人と全体の9割を占めていて、特に中学生の被害者は前年から23人増えるなど、高い増加率となっています。

SNSに関連した
子どもの被害は過去最多に

例えば、メッセージのやり取りのほか、写真や動画などを投稿し、情報を友人と共有したり、拡散したりすることができま

す。これを利用することで、実際に会うことなくさまざまなやり取りができるようになります。

表1 6つの重点課題

1	SNS利用に係る子どもの性被害等の防止(最重点課題)
2	有害環境への適切な対応
3	薬物乱用対策の推進
4	不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
5	再非行(犯罪)の防止
6	いじめ・暴力行為等の問題行動への対応

誘拐事件の实例から学ぶ
SNSの危険性

昨年11月、大阪市住吉区に住む小学6年生の女の子が、400キロメートル以上離れた栃木県小山市へ誘拐・監禁される事件が発生しました。犯人はTwitter(SNSの一つ)の第三者が見ることができないメッセージ機能を使い、近くの公園に女の子を誘い出し、そのまま栃木県に連れ去りました。その後、女の子は無事に保護されましたが「犯人から鉄砲の弾のようなものを見せられ、怖かった」と話しています。監禁された当時はスマートフォンなどを犯人に取り上げられ、誰にも助けを求められない状況だったそうです。

トラブルを避けるために
危険性を理解しよう

SNSでのコミュニケーションは、お互いの顔が見えないため、話しやすい・相談しやすいと感じるものです。しかし、インターネット上のやり取りに依存し、不特定多数の人と関わりを持ってしまうと、保護者の目が届かないところでトラブルや犯罪に巻き込まれる恐れがあります。SNSに限らず、インターネットを利用するときは便利さや楽しさだけでなく、その危険性をしっかりと理解しておきましょう。



ゲームができないとイライラ

生活リズムが変わった

やめようと思ってもやめられない

ゲーム依存 ＝ 病気 !?

知っていますか? 「ゲーム依存」

ゲームにのめり込み、生活や健康に深刻な影響が出ている状態を「ゲーム依存症(ゲーム障害)」といいます。昨年5月、世界保健機関(WHO)は、ゲーム依存症を治療が必要な病気として正式に認定しました。

外出の自粛や長期の休校期間中、ゲームは子どもたちの貴重な息抜きとなった一方で、のめり込み過ぎると生活に悪影響を及ぼします。楽しさゆえに機器の使用時間や節度をコントロールできなくなる「ゲーム依存症」は、誰もがなりうる病気です。自分の子どもや身近な人がゲームに依存していないかをチェックしてみましょう。

✓ ゲーム依存 チェックシート

- 自分がゲームに心を奪われていると感じる
- ゲームをする時間をだんだん長くしないと、満足できなくなっていると感じる
- ゲームを制限または完全にやめようとしたが、上手くいかないことが何度もあった
- ゲームを制限または完全にやめようとすると、落ち着かなくなったりイライラしたりする
- 初めに考えていたよりも、長い間オンラインの状態でご過ごしている
- ゲームのために大切な人間関係や仕事・勉強などの機会を失いそうになったことがある
- ゲームへの熱中を隠すために、家族などに嘘をついたことがある
- 問題から逃れるため、嫌な気分から解放されるためにゲームをする

上の項目が多く当てはまる人は、「ゲーム依存」の疑いがあるかもしれません。心あたりがある人は、5ページで紹介している相談窓口にお問い合わせください。

※このチェックシートは目安です。医療機関などでの診断基準とは異なる場合があります。



知っておこう 我が子を守る手段

家庭で話し合みましょう

SNSやオンラインゲームでは気軽に他人と知り合える一方、その仕組みを悪用する人がいることも事実です。知らない人とのつながりを持ち、被害に遭う子どもたちが増えている現状を知った上で、インターネットの正しい使い方を家庭で話し合う必要があります。

フィルタリングなどを活用しましょう

パソコンやスマートフォン「フィルタリング」は、有害なページなどにアクセスできなくすることで、インターネット上の危険から子どもを守る機能です(図2)。携帯



フィルタリング

Q. フィルタリングは設定しなくてもいいの?

A. 携帯電話の契約を青少年が行うとき、販売店などは「フィルタリングを設定しなければインターネット接続サービスを提供してはならない」という決まりがあります(青少年インターネット環境整備法)。

スマートフォンを購入するときも同様で、販売店にはフィルタリング利用の必要性を説明する義務があります。



幼少期から習慣的にゲームをすると、依存症になりやすいといわれています。まずはゲームの内容が子どもの年齢に適しているかを保護者が判断した上で、使用時間などを管理することが大切です。また、ゲーム以外に外で体を動かす時間も十分に確保するようにしましょう。

保護者が適切に管理しましょう

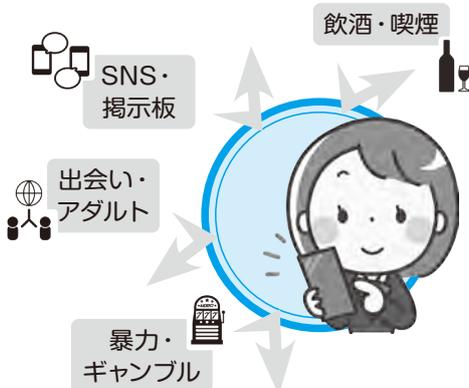


図2 フィルタリングのイメージ

電話などの販売店に「子どもが利用することがあるため、フィルタリングを使えるようにしたい」と伝えることで設定してもらえるほか、保護者自身で設定することもできます。また、フィルタリング以外にも、子どものスマートフォンやゲーム機の利用状況を保護者が把握できる機能(ペアレンタルコントロール)を活用することも有効です。

「ペアレンタル コントロール」 って何だろう?

ペアレンタルコントロールは「子どもの通信機器の利用状況を保護者が管理すること」です。機器によつてさまざまな管理方法がありますが、今回は任天堂のゲーム機「Nintendo Switch」の「みまもり設定」を例に説明します。

ニンテンドースイッチ みまもり設定

ここがポイント!

保護者のスマートフォンで利用状況を管理できます。※アプリのインストールが必要です。

4つの便利な機能

「遊んだソフト・時間の確認」

子どもが遊んだソフトや時間を確認できます。





福岡県教育庁北九州教育事務所
社会教育室長
石田 拓司 さん

子育ての主役は「家庭」です

子どもたちが通信機器を上手に利用できるように

子どもたちが基本的な生活習慣や他者への思いやり、自立心を身に付ける上で、家庭での教育は重要な役割を担っています。近年はインターネットやゲームに夢中になり、勉強や健康に支障をきたすケースが増えてきていますが、通信機器の危険性や使用上のルールを家庭で話し合い、上手に活用する力を育んでもらいたいです。

また、親子の対話で重要なことは、「子どもの意見を最後まで聞く」こと。そうすることで、保護者の話を子どもたちに理解してもらいやすくなります。

インターネットやゲームへの依存などのトラブルを家庭だけで解決できないときは、学校の先生やスクールカウンセラー、専用の窓口相談を。



相談窓口は
コチラ

【子どもや保護者が抱える悩み】

●子どもホットライン24 ☎0949-24-3344またはメールhotline24@pref.fukuoka.lg.jp※24時間対応

【家庭での教育(子育て)に関する悩み】

●家庭教育相談「親・おや電話」 ☎092-947-3515

●ふくおか「子育てパーク」※専用メールフォームから

ふくおか「子育てパーク」専用メールフォーム▶



インターネットなどが持つ危険性を呼び掛けていきます

スマートフォンやパソコンなど、インターネットに接続できる機器は今や生活をする上で欠かせません。また、テレビゲームなども家庭内の娯楽として定着しています。しかし、SNSなどの仕組みを悪用した犯罪事件に子どもたちが巻き込まれたり、娯楽にのめり込んでしまうことによって健康を害したりするなどの心配があります。

今後も、国の啓発月間などさまざまな機会に合わせて、インターネットやゲームがはらむ危険性について、保護者の皆さんの理解を求めるとともに子どもたちへの注意を呼び掛けていきます。



岡垣町教育長
佐々木 敏幸

「1日に遊べる時間の制限」

ゲームで遊べる時間を設定し、時間になるとゲーム機の画面上にお知らせが表示されます。曜日ごとに時間を設定することもできます。



▲ホーム画面に残り時間が表示される

「使える機能の制限」

子どもの年齢に応じて、ソフトのプレイやオンライン機能に制限を設けられます。

「暗証番号の確認・変更」

ゲーム機の設定変更や「みまもり設定」の解除に必要な暗証番号が設定されます。

スマートフォンとの連携がオススメ

「みまもり設定」はスマートフォンが無くても使えますが、連携するとより便利になります。設定方法など詳しくは、任天堂の公式ホームページを見てください。



※機器によって設定できる機能・方法は異なりますが、ほかのゲーム機やスマートフォン、パソコンなどでも設定できます。

※ Nintendo Switch は任天堂株式会社の商標です。
※スマートフォン・ゲーム画面のスクリーンショットに関する著作権は任天堂株式会社に帰属します。